

# 環境会計

事業活動にかかる費用のうち、環境保全活動にかかわるコストとその効果を定量的に把握し、企業活動の指針としています。また2005年度から横浜ゴムグループ会社の集計を開始しました。

## 環境保全コスト

2005年度の環境保全コストは、三重工場へのコージェネレーションシステム導入などで、前年度比8.5%増の36億26百万円

となりました。一方、費用は廃棄物削減に向けたリサイクル処理費用、研究開発費用などが増加しました。

### 環境保全コスト

単位：百万円

分類	主な取り組み内容	2004年度		2005年度	
		投資	費用	投資	費用
事業エリア内コスト		416	1,474	517	1,893
内訳	公害防止コスト	25	387	63	368
	地球環境保全コスト	336	89	374	149
	資源循環コスト	57	999	80	1,376
上・下流コスト	環境物品などの提供、環境負荷低減のための追加的コスト	91	46	14	267
管理活動コスト	ISO14001運用、環境管理人員費、環境報告書作成、事業所の美化	1	462	0	511
研究開発コスト	環境負荷低減商品開発のための研究費	10	306	5	402
社会活動コスト、他	環境保全を行う団体や地域住民が行う環境活動などへの支援、寄付	0	16	0	17
環境損対応コスト		0	0	0	0
合計		517	2,304	535	3,090
環境コスト総計		2,821		3,626	

## 経済効果と環境保全効果

2005年度の経済効果は、新たなリサイクル先の開発などによって、前年度比23.9%増の9億54百万円になりました。主な環境保全効果は下表の通りです。

### 経済効果

単位：百万円

分類	内容	2004年度	2005年度
収益	事業活動で生じた廃棄物のリサイクルなどで得られた収益など	472	670
費用削減	省エネルギーによるエネルギー費の削減	298	284
効果金額合計		770	954

### グループ会社の環境会計をスタート

2005年度から、「ヨコハマタイヤ東日本リトレッド」、「山陽リトレッド」、「協機工業」の3社について環境会計の集計を開始しました。

### 環境保全コスト

単位：百万円

分類	投資	費用
事業エリア内コスト	5	26
管理活動コスト	0	9
合計	5	35
環境コスト総計	40	

### 経済効果

事業活動で生じた廃棄物のリサイクルなどで得られた収益	9
----------------------------	---

### 主な環境保全効果

\*2005年度から旧横浜ハイデックス(2004年10月統合)を集計に加算

	2004年度	2005年度
温室効果ガス排出量(基準年を100とした指数)	100	95
有機溶剤排出量(基準年(2000年)を100とした指数)	54	56
廃棄物埋立量(トン)	113	31
水使用量(万m <sup>3</sup> )	921	924
ポリエチレンシート(トン)	928	907

## 環境効率

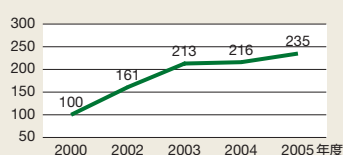
環境効率は、環境負荷を抑えていかに効率的に事業活動を行っているかを見る指標です。売上高を分子に環境負荷を分母にし

た指標で、指数が大きいくほど改善が進んでいることを示します。

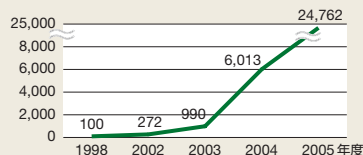
### 環境効率の推移

環境効率 = 売上高 ÷ 環境負荷

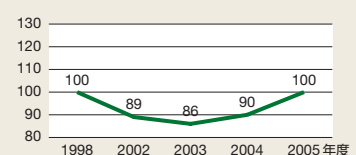
有機溶剤(VOCs)指標



埋立廃棄物指標



温室効果ガス指標



\* 環境保全コストと経済効果の集計範囲は国内全生産事業所です(対象期間：2005年4月～2006年3月)。